



即時原発ゼロに 確信を

渡部 寛一 議員

されていない。再稼働など論外では。

問 原発建設・稼働で大儲けしてきた「原子カムラ」に後押しされた安倍政権は、原発再稼働の方向に行こうとしている。

市長は原発ゼロ実現のために、その根拠と対案を明確に示すべきでは。

答 再生可能エネルギービジョンの推進を図り、脱原発で復興を成し遂げていきたい。

問 安倍政権のエネルギー基本計画には大きな問題がある。
原発永久化を図る計画であること。原価に入っていない核のゴミや事故処理費用を考えた場合、原発こそ究極の高コスト電源だ。安全な原発などあり得ない。これこそが原発事故の最大の教訓だ。
事故が収束していない。事故原因の究明も



爆発した福島第一原発

仮設・借上住宅の 住み替え自由を

問 大震災原発事故から3年たつてしまった。

住む場所を奪われたまま、住み替えを奪い、職業を奪い、結婚の自由も奪っている。健康と命を奪い、過去と未来も奪っている。

答 安全なエネルギー、再生可能エネルギーでの電源開発とするべきである。

民間借り上げ住宅間の住み替えはいまだに認められていない。
自由な住み替えを認めるべきでは。

答 生活状況の変化、子供の成長に伴って様々な問題が出ている。国・県に対して住み替えの自由を強く求めていく。

質問を終えて
即時原発ゼロの、根拠を明確に言わなかった市長に不安も。

その他の質問

- ① 安定ヨウ素剤の全世界帯配備早期実現を
- ② 完全賠償を国に強く迫れ
- ③ 賠償担当部署は市民に寄り添った対応で



までいな除染で 市民に安心を

志賀 稔宗 議員

進めている。放射能被災の山側に事業を考えなければならないのでは。

答 山側高線量地区ではなかなか戻れない、農業もできない人も多いため、国に要望し特区制度を利用して進める。

問 新法でも規制緩和は十分でない。市の取り組み強化が必要では。

答 市との連携を図り全体的に強化し迅速にする。

問 農地を活用した太陽光発電事業では農地転用、農業者年金、固定資産税等のハードルがある、どのように進めるのか。

答 線量を可視化して高い低いの内容を市民に示し作業計画を創る。ひと通り実施後の再除染の必要も考えられる。

問 市は現在津波被災の海側で、太陽光発電等の再エネ基地形成を



までいな除染を！（原町区 大谷地区）

質問を終えて
除染は南相馬市復興の基礎となる大事業。「百年の大計」に後退する事などあり得ません。

その他の質問

- ① スーパー特区と償却資産税減免の取組
- ② 3・11鎮魂の日の条例制定は
- ③ 東京直通バスの運行再開を

一般質問

議会傍聴記

「復興大学」に期待

(マサチューセッツ州ケンブリッジ市/
森本 涼さん)

議員の皆様は、市民の声を丁寧に拾い、代弁者としての業務を全うされていた反面、互いに「市民の為」という大義のナタを振るい、原発事故により机上に描かれた市内の「分断」を、観点の不一致による意見の「分裂」で体現している様に感じた。

震災後加速された少子高齢化現象、原発事故による生産人口流出や不信感による安心感の欠落など、抱えている諸問題への挑戦はまさに「世界史に残る事例」であり、一地方の仕法が世界基準になりうる機会だが、それを議論する方々（大半が年配の男性）の南相馬市の将来像不足が、「復興」という汎用語によって曖昧にされているように思えてならない。

よそ者の私が興味深いのは、世界に類を見ない問題を抱える場所に、これだけの市民の方々が帰還したという事だ。市外の大学へ巣立つ若者は一考し、「南相馬の魅力は特に無いが、あえて言うならそこにいる仲間達」と言った。その「仲間」とは恩師であり、友達であり、バイト先の大人や客達だ。南相馬の底力はそんな「普通の市民」がお互いの「心の復興」を勤勞とし、報徳思想の伝統を継ぐ地である。

今回施策の柱に「復興大学」があるが、この取り組みには市民一人一人が「よそ者」をホームステイなどで積極的に「場」を作り迎え入れ、教え、育て、ここに根付かせるのは、「我」だという自覚を精神的復興の「徳」として欲しい。

啓蟄と共に始まった3月議会。過去最高を更新する1千213億円の一般会計が上程され、議決しました。議会中の第3回東日本大震災追悼式では、あの無念な思いに再び涙し、原子力災害の恐怖と憤りが蘇る。そして三寒四温の中での卒業式、鹿島区西川原原田団地の復興公営住宅第1号の竣工式、原町川俣線の八木沢トンネル起工式、原町区のわんぱくキッズ広場のオープンがありました。気付けば入学式も終わり、外を見れば満開の桜の中、議会だよりを作成しています。この誌面が市民の皆様が届く頃は、風薫る5月。少しずつ、一歩ずつ新しい南相馬市が創られていきます。

小川 尚一

6月の定例会（予定）

- 6月11日(水)
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・議案の提出及び説明
- 6月16日(月)・17日(火)・18日(水)
本会議…一般質問
- 6月19日(木)
本会議…議案に対する質疑、委員会付託
- 6月20日(金)
常任委員会…総務、文教福祉、建設経済
- 6月25日(水)
本議会…委員長報告（質疑、討論、表決）

※この日程は変更されることがあります。

議会を傍聴する際には、日程をご確認下さい。

●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

市議会ホームページ・本議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録（本会議）などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信（本議会のおおむね5日後）でご覧いただけます。あわせてご覧ください。

下記のアドレスへ、アクセスしてみてください。

南相馬市議会ホームページ

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/>

- 請願・陳情の提出をされる方へ：次回の6月定例会においては、5月26日(月)午後4時まで提出してください。

広報広聴特別委員会



委員長
(左手前より) 小川 尚一、鈴木 昌一、奥村 健郎、田中 京子、田中 一正

副委員長
(右手前より) 荒木 千恵子、土田 美恵子、山田 雅彦、小林 正幸

編集後記

啓蟄と共に始まった3月議会。過去最高を更新する1千213億円の一般会計が上程され、議決しました。議会中の第3回東日本大震災追悼式では、あの無念な思いに再び涙し、原子力災害の恐怖と憤りが蘇る。そして三寒四温の中での卒業式、鹿島区西川原原田団地の復興公営住宅第1号の竣工式、原町川俣線の八木沢トンネル起工式、原町区のわんぱくキッズ広場のオープンがありました。気付けば入学式も終わり、外を見れば満開の桜の中、議会だよりを作成しています。この誌面が市民の皆様が届く頃は、風薫る5月。少しずつ、一歩ずつ新しい南相馬市が創られていきます。

小川 尚一